



## 加賀東芝エレクトロニクス株式会社 サイトレポート情報

所在地 : 石川県能美市岩内町 1 番地 1  
 敷地面積 : 330,593m<sup>2</sup>、建家面積 : 54,891m<sup>2</sup>、緑化率26.6%  
 設立 : 1984年12月、従業員 : 1000人 (2011年3月末現在)

主要製品 : 小信号トランジスタ、パワートランジスタ

ISO14001認証取得 : 1998年9月  
 セミコンダクター社グループ統合認証取得 : 2008年8月、最新更新年月 : 2010年8月  
 ISO14001認証番号 : EC98J2014



## サイトの紹介

加賀東芝エレクトロニクスは、東芝グループの半導体製造拠点として昭和59年(1984)に設立、製品の開発設計、半導体チップから組立まで一貫生産をする最新鋭工場です。人間の叡智、先端技術を結集し、徹底した品質管理(ISO9001)の下での安定した生産体制を誇ります。また、霊峰白山麓、辰口丘陵の自然から生命力を吸収し、美しい地球環境保全の取り組み(ISO14001)を全社挙げて実行し、広く世界に、また次の世代へ感謝の心を守り伝えていきます。



代表取締役社長 谷全 祥市

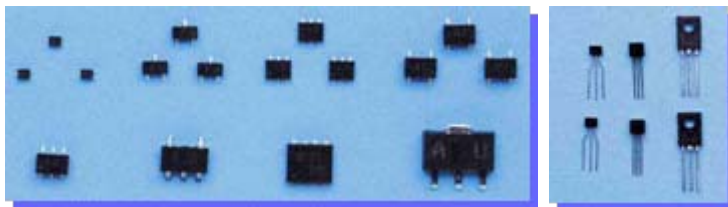
## 2010年度の環境の主な取り組み

- ☆**地球温暖化の防止** : 省エネ施策によるCO<sub>2</sub>排出量削減⇒目標961トン-CO<sub>2</sub>以上、実績:1,552トン-CO<sub>2</sub>、  
 : 温暖化物質(ガス)排出量削減⇒目標:排出量22GWP千トン以下・実績:21.5 GWP千トン
- ☆**資源の有効利用の推進**: 廃棄物総排出量の削減(有価物含)⇒目標:排出量2,956トン以下・実績2,963トン  
 \* 計画時よりも生産高が増加したため目標値よりも増加  
 : 水資源受入量の削減(工水・市水)⇒目標:受入量2,637千m<sup>3</sup>以下・実績2,643 m<sup>3</sup>  
 \* 例年に比べ降雪量が多く融雪のための用水の使用量が増加
- ☆**環境リスクの低減** : 化学物質排出量削減⇒目標:排出量141トン以下・実績139.7トン
- ☆**地域コミュニケーションの推進** : “石川の森づくり”(緑化ボランティア-39名)参加  
 : 環境報告書の発行、環境ニュース発行等。  
 : 工場見学の受入れ(2010年度3件)
- ☆**環境意識の向上** : 清掃ボランティア活動(クリーン作戦-225名)参加。  
 : 環境月間・3R推進月間・省エネ月間の活動推進  
 : 加賀東芝まつりでの環境コーナー出展

## 製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

### 持続可能社会を支えるキーコンポーネントとして不可欠のディスクリート半導体

当社が製造するディスクリート半導体は持続可能な社会に欠くことが出来ないキーデバイスであり、電子機器の電源回路に広く用いられると共に、太陽光発電システムでは発電の高効率化・安定化や蓄放電の高効率化、ハイブリッド車ではモーター駆動の高効率化などの実現に活用されています。



## 環境コミュニケーションの紹介

- ☆**環境報告書の発行**・・・2002年より毎年発行
- ☆**加賀東芝まつり・環境ブース出展**・・・2010年5月29日に開催された加賀東芝まつりにおいて、環境保全への取り組み、環境豆知識のパネル等を展示したブースを出展。来訪者にはその展示内容を基にした環境クイズに参加していただきました。(参加者約200名)
- ☆**「石川の森づくり」への参加**・・・石川県内の企業や一般市民が参加して、木を一本ずつ植え、育てることにより、将来の環境という資産を残そうという活動であり、加賀東芝も積極的に植樹や下草刈り活動に参加しています。
- ☆**クリーン作戦の実施**・・・加賀東芝周辺の通勤路、能美市内の清掃活動を当社従業員やその家族らで実施しています。
- ☆**環境工場見学受入**・・・加賀東芝の環境保全活動の紹介を中心とした工場見学を受け入れています。(2010年度 3件)



加賀東芝まつり・環境ブース



クリーン作戦(手取川)

# 加賀東芝エレクトロニクス株式会社

## 環境方針

### － 理念 －

加賀東芝エレクトロニクス株式会社は、東芝グループの環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

### － 方針 －

加賀東芝エレクトロニクス株式会社は、株式会社東芝 セミコンダクター社グループ環境方針に基づき、環境への取組みを経営の最重要課題の一つと位置づけます。清い手取川をはじめとする自然豊かな石川の地で、ディスクリート半導体の製造拠点として、製造、サービス、廃棄などにおける環境負荷の低減を経営と調和させながら積極的に行います。そして最先端のパワートランジスタの創出を通じて、エコカー、省エネ家電、LED照明、太陽光発電機器等の省エネ・省資源により社会に貢献することを目指します。

#### 1. 倫理観（コンプライアンス）と継続性（サステナビリティ）

- 1) 環境に関する、法令、条例、協定、当社組織が同意した業界などの要求事項および自主基準などを遵守致します。
- 2) 環境活動レベルの向上を図るため、監査の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行い、効果的な運用を推進します。

#### 2. 実行（エクゼキューション）

企業活動の実行においては、開発、調達、生産、回収の全ての事業プロセスにおける環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止、環境配慮型製品の創出などに関する環境目的および目標を設定して、積極的な環境施策を展開します。

- 1) 生産性向上、動力・製造設備を中心とした省エネ施策と温室効果ガス排出量抑制施策を推進し、地球温暖化防止に貢献します。
- 2) 循環型社会構築のために、生産性の向上、技術の開発及び指針の策定と共に、3Rの取組みを積極的に進め、廃棄物の総排出量の削減、水資源の受入れ量削減施策の実施により資源の有効活用を推進します。
- 3) 使用する化学物質の管理ならびに特定した化学物質の削減に係る技術の開発及び指針の策定と共に、環境排出量の削減施策の実施により、環境リスクの低減を実現します。
- 4) 生物多様性の保全を行うために、事業活動が生物多様性に及ぼすかわりを把握し、生物多様性に及ぼす影響の低減を図り、また、社会貢献活動を推進します。
- 5) 環境に関する情報発信、社会活動への参画を進め、地域・社会との相互理解を推進致します。
- 6) 組織の従業員の環境意識を高め、環境に配慮した企業活動を当社敷地内の構内常駐会社およびその従業員を含む全部門・全従業員で実行します。

<この環境方針は、当社敷地内の構内常駐会社及びその従業員を含む全部門・全従業員、取引先等に周知するとともに、一般の人にも開示します。>

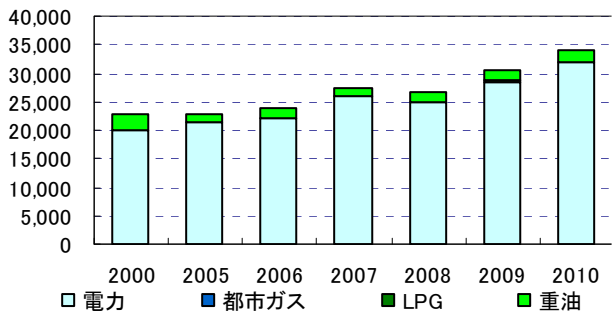
2011年 4月 1日

加賀東芝エレクトロニクス株式会社

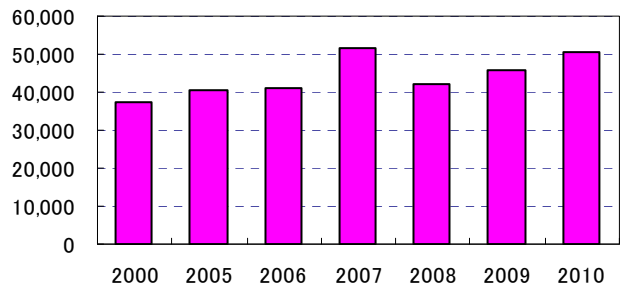
取締役社長 谷全祥市

環境負荷データ

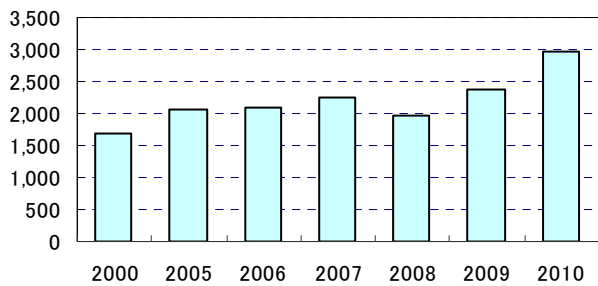
エネルギー使用量(単位:kL)



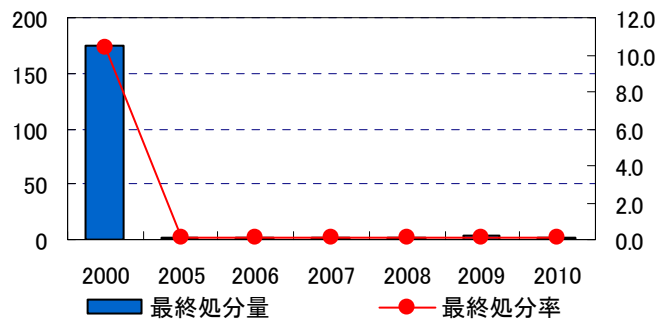
CO<sub>2</sub>排出量(単位:トン-CO<sub>2</sub>)



廃棄物総発生量(単位:トン)

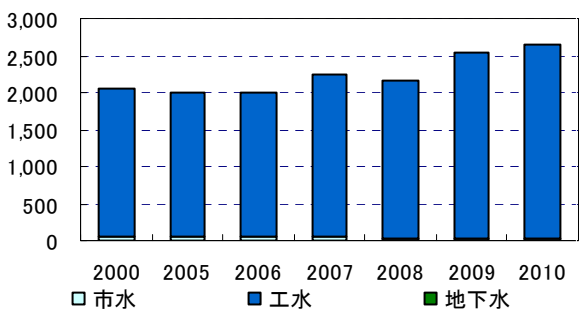


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

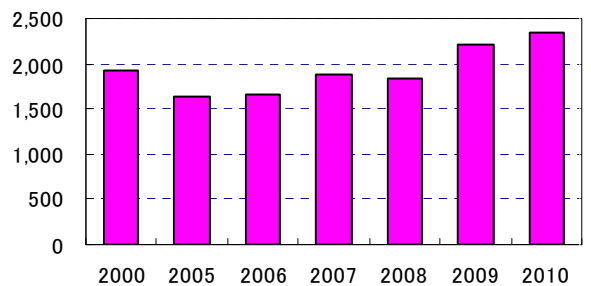


主な廃棄物名: 汚泥、廃油、プラスチック、ガラス・陶磁器等

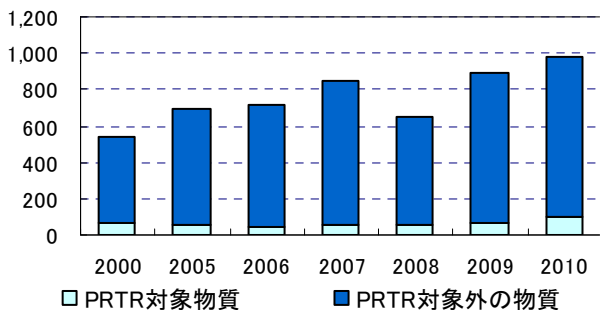
水の使用量(単位:千m<sup>3</sup>)



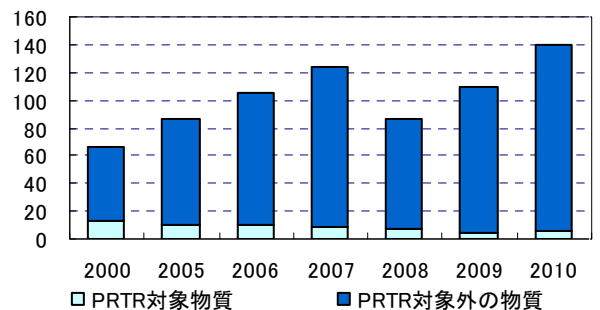
排水量(単位:千m<sup>3</sup>)



化学物質削減対象物質の取扱量推移(トン)



化学物質削減対象物質の排出量推移(トン)



主な化学物質: 硫酸、NMP、IPA、PEGME 等

## 遵法管理状況

### 大気測定結果(炉筒煙管式ボイラー(A重油使用)2台)

	法規制値(協定値)	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	180 (180)	150	66	2回/年
SOx(Nm3/h)	17.48(8.75)	0.88	0.112	2回/年
ばいじん(mg/Nm3)	300 (300)	30	29	2回/年

### 排水測定結果(主な測定結果)(酸又はアルカリ表面処理施設、排水処理施設等、河川(専用暗渠～手取川)へ放流)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8～8.6(協定値)	6.6～7.5	6.8～7.3	1回/月
BOD(mg/L)	30(協定値)	8	7	4回/年
COD(mg/L)	160(水濁法)	16	4	4回/年
SS(mg/L)	90(協定値)	12	4	4回/年
鉛(mg/L)	0.1(協定値)	0.01	<0.005	1回/月
フッ素(mg/L)	8(協定値)	4	3.5	1回/月

### 騒音・振動測定結果(騒音 モールドプレス(機械プレス)、局所排気ファン(送風機)他、振動 コンプレッサー(圧縮機))

	測定場所・時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	指定地域外	70	51	1回/年
	敷地境界:夜	指定地域外	60	—	任意
振動(dB)	敷地境界:昼	指定地域外	65	<30	1回/年
	敷地境界:夜	指定地域外	60	—	任意

### その他測定結果(浄化槽法:主な測定結果(浄化槽B))

	放流水質基準	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8～8.6(望ましい範囲)	5.8～8.6	6.4～7.0	4回/年
BOD(mg/L)	20(除く/既設浄化槽)	20	5.2	4回/年
SS(mg/L)	—	90	3.9	4回/年

### 環境事故・指導指摘・苦情の有無

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし